

公益社団法人 東京都理学療法士協会

News

2022.8.25 発行
◆発 行 公益社団法人
東京都理学療法士協会
◆発行人 森島 健
◆編集人 井出 大
医療法人社団永生会
地域支援事業部
〒193-0942
八王子市椚田町 583-19
TEL:042-661-4025

会員表彰

本協会会員 海老沼慶之氏の人命救助に対して感謝状を進呈

本協会会員である海老沼慶之氏(武蔵野台病院)は、去る2月6日に埼玉県所沢市の体育館においてバスケットボールの試合中に倒れた女子児童に対して、看護師ら4人と連携して応急処置を行いました。その適切な処置に対して、5月17日、埼玉西部消防局より感謝状を受けられました。

理学療法士としての経験を生かした活動に対して、本協会としても感謝状を贈ることになり、8月2日に当協会副会長の林と青梅支部長の長正則(高木病院)で武蔵野台病院に伺い、感謝状を手渡し、感謝の意を表しました。



林 弘康 当協会副会長と海老沼 慶之氏(武蔵野台病院)



海老沼 慶之氏 (武蔵野台病院)

223 号の目次

会員表彰	理学療法関連機器開発委員会	22
第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会・・・・ 2 ~ 4	学術局教材資料部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
エスカレーターマナーアップ推進委員会 ‥‥‥‥‥‥ 5	災害対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
地域活性局 ブロック・支部活動・・・・・・・・・ 6 \sim 11	広報局外宣部 ·····	25
スポーツ局スポーツイベントサポート部・・・・・・・ 12 ~ 15	選挙管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
スポーツ局学校保健部・・・・・・・・・・・・・・・・ $16\sim18$	広報局機関紙編集部・・・・・・・26 ~	27
スポーツ局国際競技大会・スポーツ理学療法推進部・・・・・ 19 ~ 21	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27

第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会



準備委員長 中澤 幹夫

事前参加登録はお済みですか

2022年9月10日から11日と第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会が開催されます。 開催形式はライブ配信プログラムを日本教育会館での現地会場発表及び Web 会議ツール「Zoom」 を利用したライブ配信でのハイブリッド開催で行います。ライブ配信の内容は後日オンデマンド配信 いたします。一般演題はすべて Web 開催サイトでのオンデマンド配信発表となります。

参加登録につきましては本学会の参加登録は事前参加登録のみと 学会ホームページ QR コード なっており、当日登録はございませんのでご注意下さい。事前参加登 録には、ハイブリッド参加(現地会場参加及び Web 参加)と Web 参加のみの2通りがあります。どちらかへの登録をお願いいたします。



参加登録受付期間

事前参加登録はマイページから https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/login

2022年6月13日(月曜日)~8月3 日(火曜日)23時59分 カード決済

○ 参加登録費 現地会場参加および Web 参加 6.000円 (JPTA 会員) Web 参加のみ

5.000円 (JPTA 会員)

新牛涯学習システムのポイント

登録理学療法士 更新 エビデンス(根拠)に基づく理学療法 11ポイント 専門理学療法士 取得 ブロック主催の学術大会の参加

認定・専門理学療法士 更新 学術大会 11点

第41回 関東甲信越ブロック理学療法士学会

同時開催 第41回 東京都理学療法学術大会



第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会



準備委員長 中澤 幹夫

学会プログラム https://www.gakkai.co.jp/kanbloc41/program.html

9月10日 (土曜日)

基調講演 リハビリテーション医療の今後と理学療法士の関わりについて

講師:安保 雅博(東京慈恵会医科大学附属病院副院長/東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座)

特別講演(東京都理学療法学術大会企画) ソウル市理学療法士協会の今後について

講師:パク・ジェミョン(ソウル市理学療法士会会長/ソウル特別市ソウル医療院リハビリテーション医学センター)

教育講演 1 神経筋疾患における具体的評価と介入 - 深呼吸ができる新規医療機器開発について -

講師: 寄本 恵輔 (国立精神・神経医療研究センター身体リハビリテーション部)

教育講演 2 ACL 再建術後の理学療法~臨床における評価と治療介入の実際~

講師:黒川 純(医療法人社団紺整会船橋整形外科西船クリニック理学診療部)

教育講演 3 理学療法管理を進めていく上での具体的内容

講師:千葉 哲也(公益財団法人日産厚生会玉川病院リハビリテーション科)

教育講演 4 ECMO 管理を要する COVID-19 患者へのリハビリテーション

講師:堅田 紘頌(聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーションセンター)

教育講演 5 これからの、むべなる臨床実習教育とは?-私心-

講師:山田 隆介(戸田中央メディカルケアグループー般社団法人 TMG 本部医療技術部リハビリテーション部)

教育講演 6 糖尿病に起因する運動障害の成因と最新の知見について

講師:村松 憲(杏林大学保健学部理学療法学科)

教育講演 7 パラスポーツにおける理学療法士の役割

講師:杉山 真理 (東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部理学療法学科)

新人研修 1 運動器疾患に対するクリニカルリーズニングー疼痛に対しての理解と肩関節疾患についてー

講師:西井 琢馬(多摩リハビリテーション学院専門学校理学療法学科)

新人研修 2 中枢神経疾患のクリニカルリーズニング〜脳卒中リハビリテーション介入のビューポイント〜

講師:中村 学(済生会東神奈川リハビリテーション病院リハビリテーションセラピスト部)

9月11日(日曜日)

教育講演 8 摂食嚥下理学療法の具体的な評価と介入について

講師:吉田 剛(高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科)

教育講演 9 循環器疾患の理学療法は脳に何をもたらすのか?

講師:椿 淳裕(新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科)

教育講演 10 発達障害に対する理学療法

講師:藤本 潤(第2北総病院リハビリテーションセンター)

新人研修 3 リハビリテーションにおける感染対策~標準予防策を身に着けよう~

講師: 髙橋 忠志 (東京都立荏原病院リハビリテーション科)

新人研修 4 新人から始める臨床研究のノウハウについて

講師:山田 実(筑波大学人間系)

活動報告 身体的弱者のエスカレーター利用にかかわる問題とソーシャルアクション一理学療法士の視点で社会課題に取り組む必要性一

弘(公益社団法人東京都理学療法士協会エスカレーターマナーアップ推進委員会委員長)

オンデマンド配信プログラム 2022 年 9 月 10 円 (十曜日) ~ 30 円 (金曜日)

オンデマンド教育講演 1 新生涯学習制度を理学療法士の未来につなげる-国民のために理学療法を開放する-

講師:斉藤 秀之(公益社団法人日本理学療法士協会会長)

オンデマンド教育講演 2 医療機関でのサルコペニアに対するエビデンスと栄養理学療法の役割

講師:井上 達朗 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科)

オンデマンド教育講演 3 脳卒中片麻痺患者に対する物理療法の臨床適用

講師: 生野 公貴 (西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

オンデマンド教育講演 4 腰痛に対する適切な評価と介入について

講師:成田 崇矢(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツテクノロジー学科)

オンデマンド教育講演 5 理学療法士自身のレジリエンスを高める方法

講師:上蘭 紗映(医療法人社団光生会平川病院リハビリテーション科 / 企画室)

オンデマンド教育講演 6 地域社会との共生の為の理学療法士としての働き方 講師:安倍 浩之 (リリ・フィジオグループ本部)

オンデマンド教育講演 7 嚥下障害と嚥下性肺疾患

講師:高畠 英昭(長崎大学病院リハビリテーション科)

オンデマンド教育講演 8 がん患者に特異的な評価と理学療法

講師: 高倉 保幸(埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科)

オンデマンド教育講演 9 人工透析患者に対する理学療法の新展開

講師:河野 健一(国際医療福祉大学成田保健医療学部理学療法学科)

オンデマンド教育講演 10 ニューロリハビリテーションのエビデンスについて

講師:松田 雅弘 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

オンデマンド公開講座 ライフステージに寄り添う-理学療法士のアドバイザーを持とう!-

講師:斉藤 秀之(公益社団法人日本理学療法士協会会長)



第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会



準備委員長 中澤 幹夫

第 41 回東京都理学療法学術大会 公開講座

第 41 回東京都理学療法学術大会

公開講座のお知らせ

東京都理学療法士協会ではオンデマンド配信による公開講座を開催いたします。東京都理学療法士協会ホームページ内で無料にて視聴出来ます。 視聴期間内に下記 QR コードよりお進み下さい。

公開講座1

視聴期間 9月20日~10月20日



社会的弱者のエスカレーター利用に 関わる問題とソーシャルアクション ~理学療法士の視点で社会課題に取り組む必要性~

司会 森島 健 (公益社団法人東京都理学療法士協会 会長)

講師 齋藤 弘(公益社団法人東京都理学療法士協会

エスカレーターマナーアップ推進委員会委員長)

公開講座2

視聴期間 9月10日~10月20日

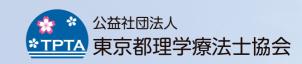


ライフステージに寄り添う - 理学療法士のアドバイザーを持とう! ~

司会 原島 宏明 (総合東京病院リハビリテーション科)

講師 斉藤 秀之(公益社団法人日本理学療法士協会 会長)

問い合わせ先 医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院 中澤 幹夫 reha-nakazawa@tamakyuryo.or.jp



エスカレーターマナーアップ推進委員会



委員長 齋藤 弘

工第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会について

令和 4 年 9 月 10 日(土)・11 日(日)に開催されます第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会にて両日とも現地にて出展ブースを出させて頂きます。ご参加の方は是非足を運んでみてください。また、演題発表ではこれまでの当委員会の活動報告と今後の展望を報告致します。

情報・メディア掲載

① 株式会社 UD エスカレーター HP にインタビューが掲載されました 当委員会事務局長の小林のインタビュー記事(前編)が掲載されました。 活動の経緯や内容、想いが記事になっています。 記事はこちら



② エスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーンが令和 4 年 7 月 25 日 (月) \sim 8 月 31 日 (水)まで実施されています。

エスカレーターを安全にご利用いただくために、令和4年7月25日(月)から、全国の鉄道事業者56社局・(公社)東京都理学療法士協会を含む4団体や空港施設、商業施設、自治体と共同で、エスカレーターの安全利用を呼びかけるキャンペーンを実施しています(詳細は都士会HPエスカレーターマナーアップ推進委員会参照)。

③ ~第13回中日新聞社広告大賞~ 審査員特別賞を受賞致しました。

同賞は令和3年4月から令和4年3月までに東京新聞などに掲載された広告が対象。表彰式は9月9日、帝国ホテル東京にて開催予定です(表彰式当日の様子はHP等でも紹介予定)。当委員会は「エスカレーター止まって乗りたい人がいる」と題して令和3年8月23日付の東京新聞に下記広告を掲載致しました。また、受賞に際して新聞之新聞にも掲載されました。

[キャンペーンポスター]



〔受賞広告〕



報告者:村田敬明(大久野病院訪問看護ステーション)



局長 中澤 幹夫

区中央部・区南部・島しょブロック部 大田区支部 おおたスポーツ健康フェスタでの体操指導及び健康相談

日時: 2022年7月2日 9:00~16:00

場所:大田区総合体育館

内容:

毎年行われるおおたスポーツ健康フェスタにおいて、区民の方に向けて姿勢改善や腰痛予防についての講演・体操指導を行いました。また、今回は YouTube でのライブ配信も同時に行われたため、多くの方にご参加いただくことができました。

現地においては、体力測定のお手伝いなど他のイベントにも参加させて頂き、コロナ禍でも感染対策などに 気を付けながらも地域の方々と交流する貴重な機会を得ることができました。今後も地域の方々に寄り添え るような活動をしていきたいと思います。





報告者:大塚里紗(蒲田リハビリテーション病院)



局長 中澤 幹夫

区西北部ブロック部 豊島区支部 豊島区委託事業 令和 4 年度フレイル対策機器活用講座

日 時: 令和 4 年 5 月 23 日 (月) ~令和 4 年 7 月 19 日 (金) 約 2 時間 (13 回終了/全 18 回)

場 所:豊島区内 [区民ひろば] 13 か所

参加人数:159名

講 師:

日付 区民ひろば 講師 (所属) アシスタント

5/23 西巣鴨第一 村本幸祐(ゆみのハートクリニック)

5/30 南大塚 片見奈々子(都立大塚病院)

5/30 朋有 關詩織(長汐病院)

6/1 高南第一 村本幸祐(ゆみのハートクリニック)

6/8 千早 鈴木享之(長汐病院)

6/17 池袋本町 田邊泰雅(目白整形外科内科)布施彩音(目白整形外科内科)

6/22 目白 田邊泰雅(目白整形外科内科)

6/27 豊成 布施彩音(目白整形外科内科)

6/30 さくら第一 川名健(目白整形外科内科)

7/13 朝日 鈴木享之(長汐病院) 關詩織(長汐病院)

7/20 南池袋 古田哲郎 (ゆみのハートクリニック) 村本幸祐 (ゆみのハートクリニック)

7/21 清和第一 芳野純(帝京平成大学) 渡邊寿彦(ゆみのハートクリニック)

7/29 駒込 田邊泰雅(目白整形外科内科)安田夏帆(長汐病院)

報告:昨年度より引き続き豊島区支部では、豊島区役所から事業委託を受け、豊島区内のフレイル予防センター・各区民ひろばに設置されている※下記の装置に対する①測定結果の見方、②動作改善のための具体的な運動方法について(参加者、関係者並びに支部員の健康に留意した上で)の講座を行いました。※フレイル予防測定機器(A:歩行姿勢測定システム・NEC 社/B:ザリッツ・タニタ社)

目的:

- ・区民並びに施設職員の方々がフレイル予防測定機器への興味を深め簡便に使用出来る様になる。
- ・この機器を利用し継続的かつ短時間で楽しく自分の身体を知り介護予防活動への参加のきっかけを作る。

内容:歩行姿勢システムは装置のカメラに向かい 6m の直線を歩行するだけで、機器が自動的に歩行速度・バランス・姿勢を分析し歩行年齢を算出する装置です。講座の中では様々な歩行の動画を交えながら参加者の皆様と一緒に歩行分析を行いました。参加者の皆様からは「楽しく参加することが出来た」「時々機器を使って自分の歩き方を見直したい」「今後も機器を利用したい」など嬉しいお声を聴くことが出来ました。引き続き区民の皆様にフレイル予防機器に興味を持っていただき、継続的な利用と健康増進につながる様、活動をして参ります。

(※今年度は全18講座実施予定)

文責: 村本幸祐 (ゆみのハートクリニック)



局長 中澤 幹夫

区西北部ブロック部 豊島区支部豊島区委託事業 令和 4 年度転倒予防教室

日 時: 令和 4 年 6 月 30 日 (木) ~令和 4 年 7 月 29 日 (金) 約 2 時間 (3 回終了/全 8 回)

場 所:豊島区内 [区民ひろば] 4か所

参加人数:44名

講師:(下記に記載)

日付 区民ひろば 講師 アシスタント

6/30 千早 大久保敦子(帝京平成大学) 渡邊寿彦(ゆみのハートクリニック)

7/20 高松 村本幸佑(ゆみのハートクリニック) 鈴木享之(長汐病院)

7/29 さくら第一 - 關詩織(長汐病院) - 村本幸佑(ゆみのハートクリニック)

内容:豊島区支部では、豊島区役所より4年目となる継続的な転倒予防講座に関する業務委託を受け、豊島区内の区民ひろば4ヶ所にて前編・後編構成の計8回の転倒予防教室を開催しております。豊島区の高齢者の約20%が転倒を経験するとされていますが、昨年度は26%に増加したこともあり、ニーズが高まっている背景があります。

本転倒予防教室の内容は年ごとに改善を重ね、例えば座学の時間減少、体験の時間増加という変化を遂げています。目的は、転倒予防に重要とされている複合運動をより身近な形で定着してほしいという思いのもと、柔軟性の「軟」、パワーの「力」、バラン



スの「均」の文字を並べて、軟力均(なりきん)エクササイズを使用した複合運動の啓発を行っています。軟力 均エクササイズは俊敏性の向上を図るメニューやマルチタスクエクササイズも含みます。 さらに、本講座の工 夫点は、自宅の生活の中でも行えるアイディアを提唱していることにあります。

参加者の皆様の反応としても好評をいただいており、「とても勉強になりました」「次回も必ず参加します」という大変嬉しい言葉も頂いています。委託事業の件数が増加している豊島区支部の中でも最も歴史ある事業となっており、今後も支部員全員の力や知恵そしてアイディアを集約して、楽しみながらチャレンジを継続していきたいと考えています。 文責:渡邊 寿彦(ゆみのハートクリニック)

区西南部区西部ブロック部 杉並支部研修会 摂食嚥下障害のシーティング

日時:2022年7月8日

テーマ: 「摂食嚥下障害のシーティング」 講師: 立正佼成会附属佼成病院 及川雅博

内容:杉並支部理学療法士の多数の参加があり、言語聴覚士の参加もあり、嚥下と姿勢の重要性の学びを深めることが

できました。杉並支部では引き続き講習を企画しております。

局長 中澤 幹夫

区西北部ブロック部 北区支部 日常生活圏域内におけるリハビリ相談会・体操指導

日時・場所・参加人数

赤羽圏域 : 桐ヶ丘商店街(2021年8月31日・11月30日・12月7日)

参加人数 131名 参加スタッフ 6名

王子圏域 : 豊島北コミュニティーアリーナ (2021年11月26)

参加人数 31名 参加スタッフ 2名

滝野川圏域:新町コミュニティーアリーナ(2022年1月13日1月13日)

東田端ふれあい館 (2022年3月16日)

参加人数 31名 参加スタッフ 1名

○活動内容

北区社会福祉協議会が運営をしている、各地域(赤羽、王子、滝野川圏域)の活動に参加して身体に対する相談 受付や体操指導を行いました。



2021年8月31日 桐ヶ丘商店街



2021年12月7日 桐ヶ丘商店街

桐ヶ丘商店街では、運営の手伝いや、身体の悩み相談を行いました。体操実施前には、転倒についての話をして 北区の体操であるさくら体操に参加しました。悩み相談はリハビリブースを設置して実施しました。



2021年11月26日 豊島北コミュニティーアリーナ

新町コミュニティーアリーナと東田端ふれあい館では、北区ご近所体操のレクチャーを田端新町地区のサロンメンバー、東田端地区の高齢者様に実施しました。他に身体の困りごとに関する質問を受けさせていただきました。



2022年1月13日 新町コミュニティーアリーナ

報告者:関優(ベストリハ訪問看護ステーション 王子支店)



局長 中澤 幹夫

西多摩南多摩ブロック 青梅市支部研修会 専門医に聞こう!リハビリテーション臨床力アップデートアワー

日時: 令和4年6月14日(火) 18:30~20:00

場所:WEB セミナー(ZOOM)

講師:宮本洋介医師(高木病院副院長 整形外科部長 青梅脊椎外科センター長)

参加者:50名:PT37名(うち都市会員34名) その他医療従事者13名

内容:第一部「脊椎外科の最前線から介護予防まで」をテーマに、脊椎疾患の基礎的な内容から職業性の腰痛、BKP(経皮的椎体形成術)の映像を用いての説明や手術前後の変化をわかりやすくご教授して頂きました。第二部では質疑応答を行った。受講者からも質問がでることで、参加者全員がさらに脊椎疾患に対しての知識をアップデートすることが出来た。本研修への参加者は経験1年から20年目以上と幅広く、所属施設についても急性期、回復期、療養型、生活期など様々な施設から参加して頂き大好評でした。そのため、青梅市支部としましては今後も最新の医療技術や知識をアップデートできる機会を提供していきたいです。





報告者:黒原祐樹(多摩リハビリテーション病院)

区中央部・区南部・島しょブロック部 大田区支部 新人向け研修会

日時: 2022年6月9日19:00~20:30

場所:Zoom を用いたオンライン

講師:大塚里紗(蒲田リハビリテーション病院、大田区支部副支部長)

内容:

当支部ではリハビリ職の顔と顔の見える繋がりづくりのため、 2017年から継続的に新入職者向けの研修会を開催してきま した。

今年度は、「ラポール形成のためのコミュニケーションのコツ」と題して、WEB上ではありますが講義とグループワークを行い、区内から 44 名の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が参加されました。

第1部の講義では同じ区内で働く先輩セラピストにご講演いただき、フレッシュマンにとって明日の臨床から役立てられそうなとても充実した内容でした。

第2部では講義を基にしたグループワークを行いましたが、 WEB上ではあったものの様々な施設のセラピスト同士が積 極的にコミュニケーションをとり、区内で働く同期たちの面 識を広めることができたと思います。

今回の研修を日ごろの連携強化や地域活動参加へのきっかけ にしていただければ幸いです。





報告者:板谷匠(牧田総合病院)

局長 中澤 幹夫

西多摩南多摩ブロック部 西多摩南多摩ブロック部 研修



公益社団法人 東京都理学療法士協会 西多摩南多摩ブロック部

WEB開催

西多摩南多摩ブロック部 研修会



動作の質から考える 高齢者の歩行・バランス



開催日時 2022 · 00~20:3°

理学療法士等, 医療・介護従事者

加費 都士会員1000円,他県士会員1500円,非会員3000円

200名



問い合わせ:あきる台病院 柴﨑大介 E-mail: minaminishitamablock@pttokyo.net

※件名は「西多摩・南多摩ブロックWEB研修会問い合わせ」でお願いします。

報告

局長 板倉 尚子

【活動報告】フェンシング大会会場サポート

日 時:2022年5月21日~8月21日(延べ19日間)

場所:台東リバーサイドSC、北区滝野川体育館、北区赤羽体育館、駒沢オリンピック公

園体育館、大蔵第二運動場体育館

参加者:延べ 2390 名

参加理学療法士数:延べ35名

スポーツイベントサポート部では5月以降も東京都フェンシング協会様、日本フェンシング協会様、日本学生フェンシング連合様、関東学生フェンシング連盟様より御依頼を受け、フェンシング競技大会の会場サポート活動を行っております。以下概要の報告を致します。

・都民大会(5月21日~22日:2日間) 会場:台東リバーサイドSC、参加者170名(対応4件)、参加理学療法士4名

・第72回全日本学生フェンシング王座決定戦(6月5日:1日間) 会場:北区赤羽体育館、参加者96名(対応3件)、参加理学療法士2名

・第77回国民体育大会東京都予選(6月18日~25日:2日間) 会場:駒沢オリンピック公園体育館、北区滝野川体育館、参加者47名(対応2件)、参加理学療法士3名

・東京都ジュニア個人選手権大会(6月25日~7月31日:6日間) 会場:北区滝野川体育館、北区赤羽体育館、大蔵第二運動場体育館、参加者525名(対応25件)、参加理学療法士11名

・東京都カデ個人選手権大会(6月25日~7月16日:2日間) 会場:北区滝野川体育館、北区赤羽体育館、参加者87名(対応1件)、参加理学療法士3名

・第75回フェンシング全日本選手権大会南関東予選会 (7月3日~10日:2日間) 会場:北区赤羽体育館サブアリーナ、参加者116名 (対応9件)、参加理学療法士4名

・第8回全日本中学生フェンシング選手権大会(7月22日~24日:3日間) 会場:駒沢オリンピック公園体育館、参加者879名(対応28件)、参加医師3名、参加理学療法士6名

・第77回国民体育大会関東ブロック大会 (8月20日~21日:2日間)

会場:駒沢オリンピック公園体育館、参加者数 150 名(対応 6 件)、参加医師 2 名、参加理学療法士 4 名



今年度は梅雨明けが早かったこともあり、気温が高い状況でのサポート活動となることが多かったです。サポート活動では外傷の手当てや処置だけでなく、選手の体調や試合環境にも配慮し熱中症に注意をしながらサポートを行いました。フェンシングでは防具を着用しながら競技を行うため、体温が高くなり熱中症の危険も高くなります。選手のサポートと救急時の対応を適切に行うためにもサポートに入る前に競技特性や用具、ルールを事前に調べておく必要性があります。今回も熱中症になった選手がおりましたが、事前の準備と日々のトレーニングのために迅速に対応することが出来ました。今後も活動を継続するにあたり事前準備を行い、選手のためにより良いサポートが出来るように努力していきたいと思います。

報告者:スポーツ局 スポーツイベントサポート部 生井真樹(世田谷人工関節・脊椎クリニック)



局長 板倉 尚子

【活動報告】EDORIKU 車いす陸上教室サポート

· 日程: 2022年5月28日(土)

·会 場:江戸川区陸上競技場

・参加者:4名

・参加理学療法十:4名

江戸川区の2022年度車いす陸上教室は、『レーサー』という専用の車いすを使用して走行を楽しむだけなく、体力測定や体力トレーニングとしてマット運動を実施しながら、競技力向上を目指す教室となりました。また、講師の先生から、ご家族も交えた座学の講義を受け、更なる競技力向上を目指しております。

教室の中で私たちは、レーサー車いすの調整、参加者に合わせたレーサー車いすへの移乗介助、シーティング調整、トレーニング指導、走行介助など、参加者の皆さまが安心して楽しく参加して頂けるようサポートしております。

これからも、スポーツを通して体を動かす楽しさを伝え、充実した人生を送っていただけるサポートを続けていきたい と思います。ご協力下さった皆様有難う御座いました。





報告者:スポーツ局 スポーツイベントサポート部 鈴木真治 (森山ケアセンター)



局長 板倉 尚子

【活動報告】青山学院大学フェンシング部サポート

日 時:2022年6月4日、6月11日、6月25日、7月9日、7月16日(計5回)

参加者:延べ75名

参加理学療法士:延べ15名

青山学院大学フェンシング部は新入生が入部し、新チームでの活動が開始しました。フィジカルトレーニングは上級生と下級生にグループに分かれて実施しています。下級生は十分にトレーニングの説明をすることでポイントを理解してもらうことや2人1組になって選手同士がトレーニング中の姿勢を修正できる環境で行っています。負荷をかけて筋力を向上するだけでなくフェンシングの独特の姿勢を維持しながら身体をコントロールできるよう意識しています。上級生は個人でトレーニング量・負荷を増やしながらフィジカル能力の向上を図っています。以前行ったアンケートでは強豪校と比較して、剣での攻防の際に力負けしていることを課題にしていました。そのため新たな試みとして選手が大学内にあるジムにて行うマシントレーニングの内容を指導しています。インナーマッスルだけでなくアウターマッスルを大きくして強豪校にも力負けしない様な体づくりができる環境を整えています。秋からまた大会が始まるため、そこで結果が出せるようにサポートしていきます。





報告者:スポーツ局 スポーツイベントサポート部 山田祐太朗 (元気ジム大泉学園)



局長 板倉 尚子

【活動報告】第7回全国ボッチャ選抜甲子園サポート

日 時:2022年8月13日(土)

場 所:港区スポーツセンター

出場チーム:8校

派遣者数:15名(日本理学療法士協会ボランティア9名、東京都理学療法士協会派遣6名)

この度、第7回全国ボッチャ選抜甲子園をサポートさせて頂きました。事前の体調管理表や当日抗原定量検査実施など COVID-19 感染予防対策の下、移動補助、荷物搬送など会場運営に関わらせて頂きました。台風 8 号接近に伴い、スケジュールを一部短縮して行われました。

全国より予選を突破した全8校、32名の選手が出場されました。ウォーミングアップから始まり、トーナメント形式、準決勝までは2エンド制、3位決定戦、決勝戦は4エンド制での試合形式でした。試合内容は、どの試合も白熱しており、数 mm の世界を真剣に戦う選手を見て、私自身も試合に出ているような熱い気持ちになりました。私のサポートに入らせて頂いた学校は、全国ベスト4だったのですが、来年度の優勝を目指して、更なる進化を宣言しておりました。真剣にスポーツに向き合う選手達をサポートするには、まずは選手達が安心、安全にスポーツに集中出来る環境作りが重要だと思うので、今後更に、知識、技術を身につけ、少しでも選手達のサポートになれるように日々精進していきたいです。

最後になりますが、COVID-19 感染拡大のさなか、感染予防対策に注意を払い運営して下さったボッチャ協会のスタッフの皆様、大会ボランティアの機会を与えてくださった東京都理学療法士協会、大会関係者や参加者の皆様に感謝致します。



報告者: 博栄会 浮間中央病院 岩山 睦

スポーツ局学校保健部

局長 板倉 尚子

【報告】しながわ防災学習事業

日 時:2022年8月7日(日)

会 場:しながわ防災体験館(品川区役所 第二庁舎 防災センター 2 階)

講師:佐伯潤先生(スポーツ局外部委員)

assistant:スポーツ局/鈴木享之、西垣有希子、森本孝則 品川区支部/伊藤滋唯

参加者: 25名(親12名/子13名)

今回、品川区が行なっている「しながわ防災学校(一般向けコース: Kids サマークラス)」にて東京都理学療法士協会スポーツ局外部委員である佐伯潤先生講師のもと「防災サイコロ(佐伯先生とスポーツ局との推進事業)」を使った区民向け安全教育を行いましたので報告します。

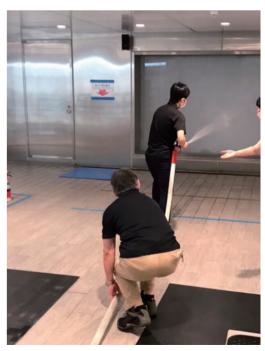
品川区では区民、防災区民組織、事業者を対象に、新しい防災の学びの場として「しながわ防災学校」を開いています。 首都直下地震が起きたら少なくとも震度 6 弱以上の揺れが想定される品川区において、区民・防災区民組織・事業者の 3 コースに分け、様々な講義や体験を通じ地域の防災力を向上させる人材を育成する取り組みです。

この度、私達は、「Kids サマークラス: 2 限目の親子参加型防災教室」を担当しました。「防災サイコロ」を使用して、いつどこで起こるか分からない地震に関し「発災直後に取るべき大切な行動(すばやい判断と大声等)や身近にある危険な物を知る事」について安全教育を行い、親子で参加し「発災直後の行動に関する親と子の考え方の違い」を確認しました。

具体的には、留守中や下校中等、子どもが 1 人でいる時に被災した場合、周囲で予測される危険な物は何か、また親と子はどのように落ち合えば良いのか等について考えて頂きました。ほとんどのグループにおいて親と子の回答が大きく異なる事が分かり「待ち合わせ場所を何処にするのか。」「どのような連絡手段と方法が良いのか。」など日頃から家族で検討する必要がある事を改めて学ぶ時間となりました。

この様な貴重な機会を頂きました品川区防災課様、運営事務局 Science Craft 様に改めて御礼申し上げます。





報告者:森本孝則 (Physical Care Room T)

スポーツ局学校保健部

報告

局長 板倉 尚子

【報告】初期消火訓練研修会

日時: 2022年6月10日(金)

会場:アットビジネスセンター池袋別館603号室

講師:佐伯 潤先生(スポーツ局外部委員)

参加者:18名

この度、東京都理学療法士協会スポーツ局学校保健部主催の初期消火訓練研修会に参加させて頂きましたので、報告致します。今回、施設内での火災発生時に、理学療法士としてどのような立ち回りができるのかを知りたく思い、初期消火訓練研修会に参加させて頂きました。内容としては映像を用いた模擬初期消火を参加者 1 名ずつ実施しました。火災発生時には理学療法士は障害があり移動が自力で難しい方でもどのように搬送すれば良いか判断しやすい立場にあり、避難誘導を率先して行うことができます。

私は、消火訓練と言えば消火器で火を消す事だと思っていました。しかし、今回の初期消火訓練により初めて、消火の前後も含めた消火訓練を行う事の大切さを知りました。具体的には、火点を発見し、大声で周囲に知らせる事、非常ボタン、119番通報、予備消火器の確保等の指示、退路の確認、消火後の119番通報等様々な対応が必要である事を知りました。また、火災は早期に発見し、迅速に対応すれば消火器だけでも対応が可能な場合も多く、周囲の人たちと協力した活動が重要である事も学びました。そして、自分の初期消火実技を数値化して頂けた事により、今現在自分に不足している能力を分かりやすく理解する事ができ、いち医療職者として職場における火災時にも活かせるとても有意義な研修会だったと感じました。最後に「初期消火訓練」の講師としてご指導下さいましたスポーツ局外部委員佐伯潤先生、企画・運営に携わって下さった東京都理学療法士協会スポーツ局の皆様、参加者の皆様に心から感謝致します。





報告者:浮間中央病院 国分空以

スポーツ局学校保健部

局長 板倉 尚子

豊島区立富士見台小学校における体力テストのサポート事業

日時: 2022年6月17日(金) 8:45~15:30

参加メンバー:12名

内容:

昨年に引き続き、豊島区立富士見台小学校より全国統一体力テストのサポート依頼があり、当日は、理学療法士 10名と理学療法士養成校の学生 2名の計 12名で測定補助を行いました。本事業は 2019・2021 年にも行っており、今回で 3回目の実施となりました。

体力テストは全校児童を対象に丸一日かけて行われました。私たちは測定項目のうち、主に長座位体前屈と立ち幅跳びの測定のサポートをしました。長座位体前屈にて呼気と共に行う等の注意点や、立ち幅跳びで遠くに跳ぶポイント等を 伝えながら計測を実施しました。途中、理学療法士として「怪我の予防とパフォーマンス向上に繋がる身体の使い方」 についてお伝えする時間も頂けました。

サポート中の事故もなく予定していた時間よりも早く終えることができ、教諭の皆さまより「安全の確保と業務負担の 軽減に繋がった」等のご意見も頂けました。

また、今回は養成校の学生も一緒に参加することができ、参加した学生からは「地域と関わることの重要性について理解はしていましたが、実際に体験する事ができ良い経験となりました。また、普段は高齢者と接する機会が多いので、子供との関わり方を学ぶことができました。そして、現場では積極的・自主的に動くことが大切ということを実感しました。」との感想を聞くことができました。

理学療法士になって、初めて都士会の事業に参加しました。 学びも多く、今後も学校の児童たちの身体づくりに貢献でき るような事業やその他の都士会事業にも積極的に参加してみ たいと思いました。



関口副校長先生(前列左側から3番目)とサポートメンバー





報告者: 佐久間比呂・野崎剛志 (大橋病院)

国際競技大会・スポーツ理学療法推進部



局長 板倉 尚子

【報告】スポーツ現場での脳震盪の評価と対応について

スポーツ現場ではコンタクトスポーツに限らず、様々なスポーツで接触や転倒により、脳震盪を引き起こすリスクがあります。また、脳震盪は対応を誤ると重大な後遺症を残す事もあり、脳震盪の知識や評価・対応スキルはスポーツ現場で活躍するためには必須のスキルであると思われます。しかし、病院やクリニック、施設等での活躍が中心の理学療法士はスポーツ現場での経験が少なく、救急対応の知識が不十分です。

そこで今回のご講演には数多くのスポーツ現場でご活躍されているJR東京総合病院の中山修一先生を講師にお招きし、 脳震盪の評価・対応についてご講演頂きました。

講義内容は脳震盪だけでなく頭頸部損傷も含めてご講義頂き、外傷のメカニズムや症状に加え、CRT や SCAT5 を使用した救急対応の流れもご講義頂き大変勉強になりました。また、脳震盪は軽視されやすく、選手を守るためには理学療法士のみならず、競技関係者も含めて共通理解が必要であり、関係者全員で組織作りをしていく必要性を感じると共に、改めて、選手が安心・安全に競技を行う為に必要なスキルだと再認識しました。

TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック大会を機に、理学療法士のスポーツ現場での活動は増えていくと思われます。これからも安全なスポーツ現場を作るために、このような勉強会が開催していければ幸いです。

■講 師:中山修一先生 (JR 東京総合病院 整形外科/東京都フェンシング協会医事委員会)

日時:2022年5月31日(火)19:00~20:30

使用ツール:zoom

参加者:54名

報告者: 西條攻 (三宿病院)

国際競技大会・スポーツ理学療法推進部

お知らせ

局長 板倉 尚子

【認定理学療法士(スポーツ) 臨床認定カリキュラム 申し込み】

この度、東京都理学療法士協会スポーツ局は日本理学療法士協会 新生涯学習制度における認定理学療法士(スポーツ) 臨床認定カリキュラムの教育機関として認定されました。つきましては 2022 年度に web 研修会(3 日間)+対面研修会(2 日間)の全 5 回の研修会を実施いたします。

以下の内容で開講が決定いたしましたので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

記

●会 期 : ① 2023年01月07日(土) web 研修会

- ② 2023年01月14日(土) web 研修会
- ③ 2023年01月15日(日)web研修会
- ④ 2023年01月21日(土)対面研修会(日本大学文理学部キャンパス)
- ⑤ 2023年01月22日(日)対面研修会(日本大学文理学部キャンパス)
- ●参加費:30,000円/全5回(21科目31.5時間)
- ●募集人数:20 名
- ●条 件:以下の条件を全て満たすものに限る
- ①日本理学療法士協会会員
- ②登録理学療法士取得済みの方
- ③全5回全てにご参加可能な方
- ●科目・講師―覧:以下ご参照ください
- ●申込 URL: https://forms.gle/ipRgfY3cPUrH9oJA7
- ●申込期日:2022年7月1日~10月末日を予定
- ※定員になり次第、申し込みを終了させて頂きます。
- ※お申し込み完了後に、こちらから改めてご連絡差し上げます。

1 週間以上経っても連絡がない場合は登録メールアドレスに誤りがある可能性がありますので、下記アドレスまでお問い合わせください。

お問い合わせ先:東京都理学療法士協会スポーツ局 板倉尚子/水石 裕

E-mail: sports.pttokyo@gmail.com

以上

国際競技大会・スポーツ理学療法推進部



局長 板倉 尚子

【認定理学療法士(スポーツ) 臨床認定カリキュラム 申し込み】

〈科目・講師一覧〉

	, .	役割(講師・担当科目名)	氏名(漢字)	所属
	1	スポーツ理学療法 総論	板倉 尚子	日本女子体育大学健康管理センター
必須科目講師 ・1コマあたり90分	2	医学的診断と治療介入	鈴木 享之	長汐病院
	3	スポーツ外傷・障害の機能評価	水石 裕	杏林大学医学部付属病院
	4	アンチドーピング	大堀 裕太	薬樹株式会社
	5	スポーツ外傷の急性期対応	渡邊 祐介	浮間中央病院
	6	スポーツ外傷・障害のアスレティックリハビリテーション	佐藤 正裕	八王子スポーツ整形外科
	7	スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法	瀧口 耕平	神戸大学医学部附属病院
	8	パフォーマンス向上のための介入とその方法	野々山 真樹	横浜リハビリテーション専門学校
	9	スポーツ外傷・障害への理学療法 上肢	千葉 慎一	ウェルケアわきた整形外科
	10	スポーツ外傷・障害への理学療法 下肢	相澤 純也	順天堂大学
	11	スポーツ外傷・障害への理学療法 頭頸部・体幹	成田 崇矢	桐蔭横浜大学
	12	患者・家族教育の意義とその方法	生井 真樹	世田谷人工関節・脊椎クリニック
	13	スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用	村本 勇貴	慶應大学病院スポーツ医学総合センター
	14	障がい者スポーツ 総論	鈴木 章	国立スポーツ科学センター
	15	障がい者スポーツ 障害別各論	笹代 純平	国立スポーツ科学センター
選択科目講師	1	疾病・障害特異的理学療法の実際 (画像評価の実際)	牧原 由紀子	国際医療福祉大学
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際 (救急対応の実際)	國次 聡史	横浜市スポーツ医科学センター
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際 (スポーツ用装具・テーピング 上肢・体幹)	宮森 隆行	順天堂大学
1コマあたり90分	4	疾病・障害特異的理学療法の実際 (スポーツ用装具・テーピング 下肢)	上倉 將太	日本体育大学
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際 (パフォーマンス向上・予防トレーニングの実際)	小山 貴之	日本大学
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際 (障がい者スポーツの競技・障害別対応の実際)	笹代 純平	国立スポーツ科学センター

委員長 小川 智美

開発理学療法機器・評価測定機器および 快適な生活を送るための道具の試作品(アイデア)募集 理学療法関連機器開発委員会 機器開発助成事業

東京都理学療法士協会では今年度も、以下の機器開発に関して助成を行います。

理学療法機器・評価測定機器の試作品作成、また自分自身やご家族の方が快適に日常生活を送るための道具を自作したという方が対象です。

また助成は必要ないけれど、多くの方が生活しやすくなるために自分のアイデアを広めたいというご要望があれば紹介いたします。

試作品を作製してご応募いただいた場合、上限1万円まで助成いたします。助成にあたり、試作品作製時の レポート(応募要項参照)、領収書の提出をお願いしています。領収書は破棄せず保管をお願いいたします。

応募要項をご覧のうえ、下記メールアドレス宛にお申し込みください。

締め切りは、2022年12月23日(金)です。皆様のご応募をお待ちしています。

ご不明な点に関するお問い合わせも下記メールアドレスまでお願いいたします。

<応募要項>

件名:「東京都理学療法士協会 試作品募集係」

氏名・所属・連絡先・試作品 (アイデア) の内容。その際、以下の 3 項目をご記入ください。

- 1. 機器の概要(写真)
- 2. 期待される効果
- 3. 概算費用 (試作品応募時、領収書の PDF データ*を添付)
 - *助成決定の場合、後日改めて実際の領収書の提出をお願い致します。

担当:理学療法関連機器開発委員会 小川 智美

宛先: ptkanrenkikikaihatu@gmail.com



*明らかに商品化を前提としたご応募および広報活動とみなされる場合には、お断りすることがあります。





局長 山手 千里

令和 4 年度教材資料部研修会のお知らせ

本年度の教材資料部研修会では、運動器疾患や神経疾患を想定したエビデンスに基づく理学療法介入をテーマに、Web 研修会を実施いたします。詳細につきましては下記をご参照ください。

事業名:【第1回】Evidence に基づいた理学療法介入

会場:web上(Zoomを用いたオンライン研修会)

日時: 令和4年 9月17日(土) 14:00~17:10

申し込み期間:令和4年7月25日~9月6日

セミナー番号: 102520

対象:理学療法士協会会員(登録理学療法士申請・更新3ポイント付与、専門・認定理学療法士更新3点付与)

定員:100名

参加費: 1000円

受講申込方法:日本理学療法士協会マイページからお申し込みください。

セミナー番号:101646

講師: 田澤 智央 先生 (苑田会人工関節センター病院 リハビリテーション部)

佐藤 和命 先生(順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室)

【第2回】Evidence に基づいた理学療法介入(教材資料部)

事業名:【第2回】Evidence に基づいた理学療法介入

会場:web上(Zoomを用いたオンライン研修会)

日時: 令和4年11月12日(土)14:00~17:10

申し込み期間:令和4年8月12日~11月1日

セミナー番号:102522

対象:理学療法士協会会員(登録理学療法士申請・更新3ポイント付与、専門・認定理学療法士更新3点付与)

定員:100名

参加費:1000円

受講申込方法:日本理学療法士協会マイページからお申し込みください。

セミナー番号:101648

講師: 古谷 英孝 先生 (苑田第三病院・苑田会東京脊椎脊髄病センター リハビリテーション科)

山形 哲行 先生(専門学校 社会医学技術学院 理学療法学科)

問い合わせ先:(公社)東京都理学療法士協会 学術局 教材資料部 E-mail: <u>tptakyozai@gmail.com</u> (携帯メールでの問合せは不可)

学術局 教材資料部

局長 山手 千里

部長 佐藤 和命

文責: 佐藤 和命 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

第16回災害時安否確認システム予行演習のお知らせ

東京都理学療法士協会では、東京都作業療法士会並びに東京都言語聴覚士会と合同で、毎年 2 回実施しております災害 時安否確認システム予行演習を下記内容で実施致します。近年の自然災害等の増加を受け、情報収集・共有体制に課題 を感じる中、平時からの備えが重要と考えております。皆様、奮ってご参加いただければ幸いです。

【災害時安否確認システム】

目 的: ①会員の安否状況の確認と各地域の被災状況を確認する

②上記の情報を災害支援やボランティア派遣に役立てる

【第 14 回災害時安否確認システム予行演習】

日 時: 2022年9月1日(木)~2022年9月8日(木)

対 象: 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ★個人単位での参加(回答)となります

方法: URL 又は QR コードから専用フォームにアクセスし、必要事項を記載・送信して下さい

備者:東京都作業療法十会・東京都言語聴覚十会との合同開催

東京都理学療法士協会ホームページ・ニュース及び各種メーリングリスト等で周知予定

※結果は、東京都理学療法士協会ホームページ・ニュース等で報告予定

 $\langle \mathsf{URL} \rangle$ $\langle \mathsf{QR} \, \exists - \, \mathsf{F} \rangle$

https://forms.gle/nUYR9cs4977i814S9



【お問合せ先】

医療法人財団健貢会 総合東京病院診療技術部 リハビリテーション科 担当:松本浩一

TEL: 03-3387-5119 (直通) E-mail: matsumotokoichi.biz@gmail.com



受験生のための理学療法士に聞くオンライン相談会 事業報告

去る 7 月 22 日から 8 月 18 日の期間にて、受験生のための理学療法士に聞くオンライン相談会を 5 回(7/22・7/25・8/2・8/10・8/18)開催しました。

例年、受験生のための理学療法の現場施設見学として会員の所属施設にご協力いただき実際の理学療法現場の見学会 を開催しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症流行に伴いオンライン相談会として開催させて頂きました。 多くの東京都理学療法士協会員の方にご協力頂き、無事に行うことができました。

本年度ははじめてオンライン開催に伴い内容を一新し、理学療法(士)の説明、理学療法士の職域、やりがい等をご紹介させていただきました。全日程合計で50名程の理学療法士養成校の進学を検討している高校生等にご参加をいただき、忌憚のない質疑応答の中で、理学療法士の役割や活動する場面を紹介することができたと考えています。

開催中の出来事としては、進学・養成校教育課程についての相談や理学療法士になってからの働き方や社会に求められる理学療法士像についての質問がありました。東京都理学療法士協会として理学療法士養成校進学を検討する受験生の方々に進路検討の一助となるような活動ができたと考えます。

参加者へ向けたアンケートでは回答いただいた全ての方から内容に満足いただけたという結果になりました。今後の改善点としては、さらに充実した相談会にするために、具体的な1日の業務を例として紹介することや作業療法士・言語聴覚士との違い、自治体との関りなどお伝えすることが必要と考えます。

これからも東京都民の方々に対する理学療法の啓蒙活動のため、皆様のご協力をお願い致します。

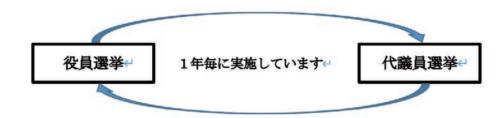
文責: 広報局外宣部 板井恵輔 小川大輝

選挙管理委員会

ま知らせ 委員長 高橋 雅人

選挙管理委員会より 選挙についてのご案内

東京都理学療法士協会では、1年毎に役員選挙と代議員選挙を実施しています。



2023年は役員選挙が実施されます。

今回の役員選挙は、2023年2月初旬ごろに立候補受付を行う予定です。

告示文面は東京都理学療法士協会ホームページに 2023 年 1 月下旬に掲載予定です。

~変更点~

ご注意下さい!

今回の選挙から、日本理学療法士協会マイページへログインの上、選挙 Web システムにアクセスし、立候補届出を行うこととなります。そのため、マイページログイン ID・パスワードを紛失した場合は、早めに再発行申請を行って下さい。

部長 中山 雅和

■ 機関誌『理学療法 東京』投稿募集のお知らせ ■

当士会では年一回、機関誌『理学療法 東京』を発行しており、投稿原稿を常時募集しています。投稿された原稿は査読者に依頼 し掲載可能とみなされれば校正ののち、その時点で最も発行が近い『理学療法 東京』に掲載します。

生涯プログラムへの反映について

- ・新人教育プログラムは、反映されません。
- ・認定・専門理学療法士制度では、『3.-4) その他の査読付きリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者 10 ポイント』に該当します。 *ただし、内容によって専門分野での認証されない場合があります。 反映される方は、発刊後に自己申請をお願い致します。

《執筆投稿規定》

- 1. 学術研究論文
- 2. 教育関係論文
- 3. 症例報告論文
- 4. 行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】

公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る。但し会長が依頼した場合この限りではない。

【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規 定に従って作成すること。

【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する。

【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と 同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において 決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求める ことがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字 句の訂正を行うことがある。

【執筆規定】

- 1. 論文構成
- 1) 標題 (表題): 内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語、略称は用いない。
- 2) キーワード:標題及び要旨から3個を抽出する。不十分な場合は本文から補充する。3) 著者名、所属名
- 4) 要旨: 「目的」 「方法」 「結果」 「結論」 を含めて 400 字程度で記載する。
- 5) 本文:下記の各部分から成り立っていることを原則とする。

- ①はじめに(序論、諸言、まえがき等)
- ② 対象および方法 (症例紹介):倫理的配慮を記述すること。
- ③ 結果
- 4) 考察
- ⑤ 結論 (まとめ)
- ⑥ 文献:引用文献のみとして本文の引用順に並べる。本文の該 当箇所の右肩に一連番号を付ける。引用文献の著者氏名が3名 以上の場合、最初の2名を記載し、他は「・他」あるいは「et al.」とする。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、 頁、西暦年号の順に記載する。単行本の場合は著者氏名、書名、 編集者氏名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。

<表記例>

- ・藤田信子, 桝田康彦・他:椅子座位における側方傾斜刺激に 対する頸部・体幹・四肢の筋活動一筋電図学的分析. 理学療法 学,17:27-30,1990.
- · Sepic,S.B,Murray,M.P,et al.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women.Am.J.Phys.Med,65:75-84,1986.
- · 真島英信, 猪飼道夫:生体の運動機能とその制御. 杏林書院, 東京,1972,pp185-193.
- · Junda, V.: Muscle Function Testing Butterworths, Londo n, 1983, pp 224-227.
- 6) 図表

原寸でそのまま掲載する(作図や縮小はしない)。図の番号および標題は図の下に、表の場合は表の上につける。本文と図表は分けて作成し、表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する。

2. 原稿規定分量

原則として 400 字詰め原稿用紙 20 枚・8000 字以内とする。

部長 中山 雅和

3. 文字表記

原則として現代かな使い、数字は算用数字,単位は国際単位系 (SI単位)を用いる。

4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

5. 表紙頁. 著者頁

論文には表紙頁と著者頁をつける。表紙には標題、キーワード(3個)、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数を記載する。著者頁には著者名、所属名、責任者連絡先(住所・電話番号・Email アドレス)を記載する。表紙頁, 著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する。

6. ページ番号・行番号

原稿にはページ番号(最下部中央)と本文右(または左) に5行ごとに行番号を記載する。

【原稿送付方法および連絡先】

1) 原稿送付先

原則として投稿原稿一式を 1 つのファイルにまとめ、電子メールに添付して下記へ送付する。上記が不可能な場合は問い合わせすること。

2) 原稿送付先および連絡先

〒 189-0024 東京都小金井市中町 2-22-32

社会医学技術学院 理学療法学科

(担当者)中山雅和

TEL: 042-384-1030 FAX: 042-384-8508

E-mail: pt tokyo kikanshi@yahoo.co.jp

(平成31年1月31日 改定)

編集後記

東京都理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか?公私ともに COVID-19 の影響を大きく受けておられる方もいらっしゃるのではないでしょうか?前号では東京都の COVID-19 新規感染者数は約 3,000 名で下げ止まっていると書きましたが、今や2万人から3万人で推移しております。社会情勢の大きな変化のなか来る9月10日、11日には第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会が東京都理学療法士協会が担当し林弘康学会長のもと開催予定となっております。ハイブリッド開催ですが、対面でのプログラムも準備されており、充実の講演内容となっております。なんとか大きなトラブルなく開催出来ることを願うばかりです。(M.I)

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

9.986名(令和4年8月25日現在)

(事務局) 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木409号

Tel: 03-3370-9035 FAX: 03-3370-9036